

1 研究主題

『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育』
～昨年度までの各校の実践の成果を生かしたより良い教育環境づくり～

2 研究推進の概要

| 活動計画 | 評価（成果と課題） |
|--|---|
| (1) 「学校マネジメント機能の強化～教職員の経営参画意識の向上と人材育成～」 ※職能向上 | 「自走と共走」を基本姿勢として学校の組織化・機能化を推進してきた。教職員の経営参画意識の向上を図り、次代のスクールリーダーを育成するための職能向上研修会を今年度も小学校校長会研修部と協力し、年3回実施した。第1回目・2回目は、管理職・ミドルリーダー育成に係る研修を実施。第3回目は、北海道教育庁学校教育監 川端香代子氏を講師に、『次期学習指導要領を見据えて、今行うべきこと』を演題として講演会を開催した。 |
| (2) 「業務改善～教育DXと働き方改革の推進～」 ※評価システムの改善 | 昨年度に続き、評価システムの改善に向け、令和8年度からの実施を目指し準備を進めてきた。市内中学校で統一したシステムとなるこの取組の準備にあたり、各学校の主幹教諭や教務主任等と校長会研究部で構成された検討部会で原案を作成し、各学校で検討するとともに、市P連からもご意見をいただいた。保護者にはアンケートや説明会を行うなど丁寧に対応することで理解を得た。通知表の様式については、C4th上の問題で年度明けに作成する予定である。 |
| (3) 「キャリア教育と進路指導の充実」 ※全日中提言 | 昨年度行った各学校のキャリア教育に関する実践を情報共有し、自校のキャリア教育の改善に生かした。全日中香川大会に向け、特徴ある6校の実践と、改善に生かした実践を取り上げ、提言としてまとめた。 |
| (4) 研究紀要の刊行 | 廃止（その都度情報を共有しており、関係機関の理解も得られたため） |

3 研究の成果と課題

【成果】

- ・人材育成を推進したことで、ミドルリーダーの経営参画意識の向上が見られている。
- ・通知表の発行を2回にすることで評価期間が長くなり、より適切な評価が可能になるとともに学期末業務を分散できる。（評価の質の向上、生徒と向き合う時間の確保）
- ・評価システムを改善し、様式等を統一したことで異動しても混乱が少ない。
- ・全生徒、全保護者と面談することで、よりきめ細やかにこれまでの振り返りや今後に向けたアドバイスができる。（目的意識の向上）
- ・「今後の人生をより良く生きていきたい」という生徒の意欲の高まりが見られるとともに、自校のキャリア教育改善に向けた契機となった。

【課題】

- ・人材育成を推進しているが、管理職、特に教頭候補者不足は今後の学校経営上の大きな課題となる。
- ・全生徒、全保護者と面談するための日程の調整に苦慮している。
- ・特別支援学級については、一人一人の生徒にあわせた通知表にするため、C4thでは扱えず、Excelを活用せざるを得ない。
- ・「特別活動」を要としたキャリア教育と「3年間（9年間）で身につける資質・能力を意識した系統的なキャリア教育」を推進していく。

1 研究主題

『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育』
～昨年度までの各校の実践の成果を生かしたより良い教育環境づくり～

2 研究主題設定の趣旨

社会や経済の先行きに対する不確実性が一層高まり、激しい変化が止まることのない時代を生きる子どもたちが、自らの手で未来を力強く切り拓く力をつけるため、新しい時代に沿った学校づくりが求められている。そこで、小樽市校長会は、教育の質の向上を目指した「持続可能な新たな学校づくり」をテーマとして掲げ、重点目標を「子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育環境の整備」とした。

昨年度、小樽市中学校長会は、①学校運営組織の機能化、②小中一貫教育の推進、③人材育成、④業務改善の4観点から研究を深めてきた。成果としてミドルリーダーの意識の向上や評価システムの改善による教育の質の向上などが図られてきているが、人材育成や業務改善については今後も考え続けなければならない大きな課題である。今後も安心・安全な学校、働きやすく、働きがいがある学校、そして生徒に必要な資質・能力を確実に身につけさせることができる学校を目指し、教育活動を推進していく。現在、持続可能な社会の創り手を育成するために各学校が実態を考慮しながら創意工夫し、実践を積み重ねている。その土台となる教育環境づくりを各校が自走し、これまでの研究の成果を生かして小樽市中学校長会として共走することで小樽市校長会が掲げるテーマ「持続可能な新たな学校づくり」の実現を図っていく。さらに、昨年度の全日中研での提言発表を踏まえたキャリア教育と進路指導についての実践をより一層進めていく。

3 研究内容

- (1) 「学校マネジメント機能の強化～教職員の経営参画意識の向上と人材育成～」
- (2) 「業務改善～教育DXと働き方改革の推進～」
- (3) 「キャリア教育と進路指導の充実」

4 研究推進計画

- 5月 定例校長研修会議にて研究部活動計画案検討
- 6月 第1回職能向上研修会の検討
- 7月 教育DX、キャリア教育について
- 8月 第2回職能向上研修会の検討
- 9月 職能向上について（第3回研修会講師検討を含む）
- 10月 評価システム改善について
- 11月 第3回職能向上研修会の検討
- 12月 教育DX、キャリア教育について
- 1月 次年度に向けた方向性の検討

5 研究組織

- | | | | | | |
|----|-------|----------|---|-------|----------|
| 部長 | 山本 俊次 | (桜町中学校) | ・ | 田中 孝二 | (長橋中学校) |
| | 柳原 功美 | (松ヶ枝中学校) | ・ | 山崎 徹也 | (向陽中学校) |
| | 青柳 信正 | (銭函中学校) | ・ | 浦寄 昌明 | (望洋台中学校) |